

読者を動かす地域最強のコンテンツ

中日アプリ

Chunichi - Application 2010



地域が共有するコンテンツ
中日ドラゴンズ
“新聞+α”の
立体的なクロスメディア



全国区の知名度
ドアラ
人気ふっとう
“ドアラ流コミュニケーション”



湧き上がる感動・共鳴空間
ナゴヤドーム
フェア・キャンペーンに
動員力と一体感を



総力結集でさらなる高みへ
名古屋グランパス
世代を超えた
サポーターパワーに注目!



名古屋の情報発信拠点
中日ビル
定番の待ち合わせスポット
販促・イベントに自在な活用



多目的スペース
中日パレス
パーティから展示会まで
大小講演会・セミナーにも



2.4万人通うカルチャースクール
栄・中日文化センター
セグメントされた
上質ターゲットへのアプローチ



名古屋3大劇場のひとつ
中日劇場
1,440席の人気シアター
多彩なエンタテインメントを手がかりに



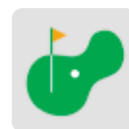
地域医療に貢献
中日病院
地元医師会とも連携
医療分野のメッセージ発信に一役



福祉向上に全力
中日新聞社会事業団
CSR 事業活動を
多様な形でバックアップ



愛知・岐阜・三重・静岡に計8会場
中日ハウジングセンター
高い知名度と集客ノウハウ
住まいなんでも情報拠点



27H・10,372Y
中日カントリークラブ
招いても招かれても
コースへの満足が話題に



カメラファンの交流サロン
中日写真協会
中部各県下の写真好きで賑わう
展覧会&撮影会



膨大な写真データベース
中日新聞フォトサービス
貴重な写真記録を
販促やイベントに



サブメディア多彩
中日新聞出版部
各メディアに固定読者
「思い出新聞」も大人気



中部の知性
中日懇話会
次の中部をリードする人々
協力・連携のチャンスあり



地域の情報ステーション
中日新聞販売店
戸別配達の特長を
最大限活かす!

エリアに好感
読者と交歓

■ 地域が共有するコンテンツ 中日ドラゴンズ



“新聞+α”の
立体的なクロスメディア

中日ドラゴンズはナゴヤドームを本拠地とするプロ野球球団。親会社は中日新聞社。1936年、「名古屋軍」としてチームを創設以来、リーグ優勝7回(1954年、1974年、1982年、1988年、1999年、2004年、2006年)。日本一2回(1954年、2007年)の成績を残し、2007年には、アジア王者に輝きました。

球団マスコットキャラクターは「ドアラ」、「シャオロン」、「パオロン」。ナゴヤドームでは試合前、ドラゴンズのオフィシャルパフォーマンスチーム「チアドラゴンズ」とマ



8月15日対広島戦、延長10回裏、サヨナラ打を打ちナインに囲まれる森野選手。
(中日スポーツ 2010年8月16日より)

スコットによるダンスパフォーマンスが行われるほか、「キャラクター撮影会」や「練習見学会」など先着順で当日でも参加が可能なイベントや「ジュニアベンチツアー」、「グラウンドキャッチボール」などの事前募集イベント、ドラゴンズが勝利した試合には、ヒーローインタビュー終了後、選手とお立ち台で記念撮影ができる「ヒーローフォトチャンス」など、多彩なファンサービスを実施しています。

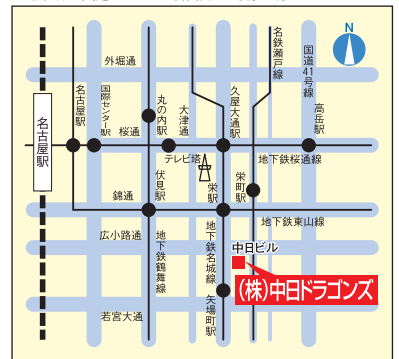
主催試合はナゴヤドームのほかに、豊橋、岐阜、浜松、福井、富山、金沢などの各地方球場などで開催され、放送権はAMラジオ2局(東海ラジオ、CBCラジオ)とテレビ4局(東海テレビ放送、中部日本放送、テレビ愛知、三重テレビ放送)で構成されています。東海・北陸を中心に熱烈なドラゴンズファンは多く、中日新聞、中日スポーツをはじめ、在名ラジオ局、テレビ局など多くのメディアが連日、ドラゴンズの活躍を報道しています。また、シーズン終了後には、東海エリアの各地各所でドラゴンズ選手を招いたサイン会やトークショーなど、楽しいファン交流イベントが催され、地域のファンに親しまれています。

(株)中日ドラゴンズ

- 所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-1-1 中日ビル 6階
- TEL 052-261-8811 ■FAX 052-251-8649
- URL <http://dragons.jp/>
- 営業時間 10:00-17:00(土日祝を除く)

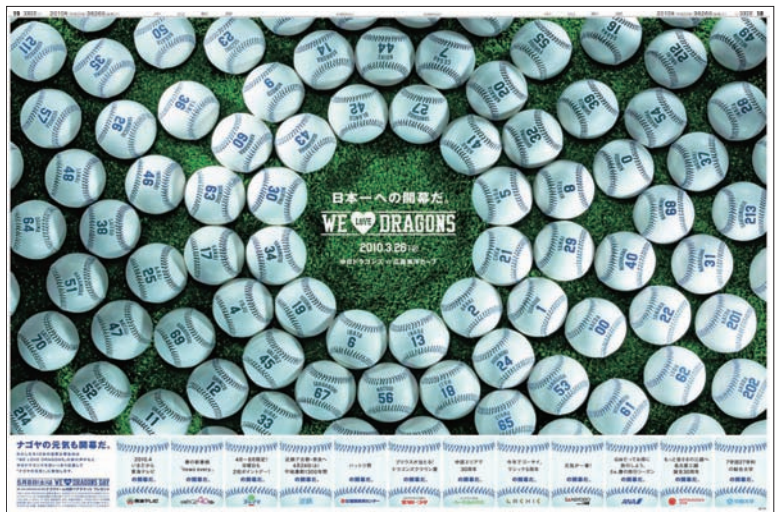
- ◎チケット、イベント、グッズに関する問い合わせは 中日ドラゴンズ 営業部 TEL 052-261-8814(10:00-17:00、土日祝除く)
- ◎中日ドラゴンズの商標(マークなど)を使用した広告物や商品の宣伝、グッズの製造に関する問い合わせ 中日ドラゴンズ 営業部 TEL 052-261-1801(10:00-17:00、土日祝除く)

- アクセス 地下鉄「栄駅」直結徒歩3分、地下鉄「栄駅」1・2・3番出口から徒歩1分



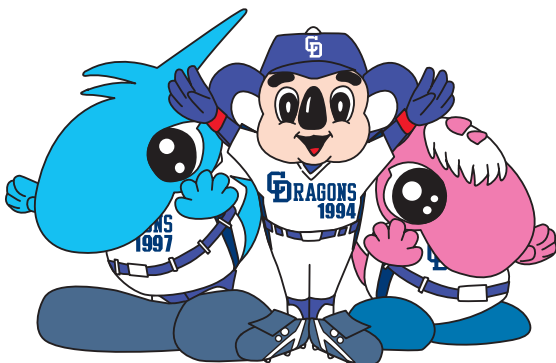
■企画掲載事例

プロ野球・セ・リーグ開幕日。『日本の元気はナゴヤから。』を合言葉に、ドラゴンズを思いっきり応援する、読者参加型企画「WE LOVE DRAGONS」を掲載。主旨に賛同いただいた協賛企業12社にも、紙面で開幕を宣言してもらいました。



中日新聞 2010年3月26日付朝刊

DRAGONS



■ 全国区の知名度 ドアラ



人気ふっとう
“ドアラ流コミュニケーション”

ドアラは、シャオロン、パオロンと並ぶ中日ドラゴンズのマスコットキャラクター。名前の由来は1984年、名古屋市と姉妹都市を結ぶシドニーからコアラが贈られ、以来、東山動植物園で市民に親しまれてきたことから、コアラがモチーフとされました。1994年にキャラクターとして誕生したことにちなみ、背番号は1994。選手と同じユニホームを着用し、ナゴヤドームでは毎試合、7回裏の攻撃終了時に、1塁側で連続バック転を披露するなど、その愛嬌あるパフォーマンスが観客を魅了しています。人気とともに、メディアへの露出、イベントへの出演依頼が増え、写真集やDVDを発売。2009年の衆院選、2010年の参院選では、愛知県選挙管理

委員会の広報キャラクターを務めるなど、その人気、知名度は今や全国区となっています。

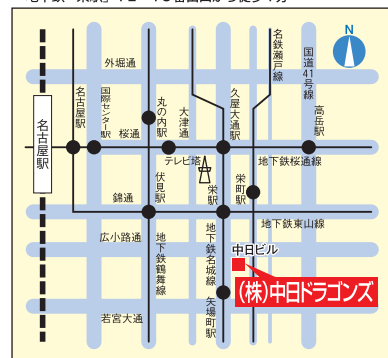
中日新聞広告局では、様々なイベント、企画紙面において、地域に親しまれるドアラに登場してもらうコミュニケーションを提案しています。ご用命の際は、弊社営業部員までご相談ください。



(株)中日ドラゴンズ
■所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-1-1 中日ビル 6階
■TEL 052-261-8811 ■FAX 052-251-8649
■URL <http://dragons.jp/>
■営業時間 10:00-17:00(土日祝を除く)

◎チケット、イベント、グッズに関する問い合わせは
中日ドラゴンズ 営業部
TEL 052-261-8814(10:00-17:00、土日祝除く)
◎中日ドラゴンズの商標(マークなど)を使用した広告物や商品の宣伝、グッズの製造に関する問い合わせ
中日ドラゴンズ 営業部
TEL 052-261-1801(10:00-17:00、土日祝除く)

●アクセス 地下鉄「栄駅」直結徒歩3分、地下鉄「栄駅」1・2・3番出口から徒歩1分



■ 企画掲載事例

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の名古屋での開催を1年後に控え、低炭素社会の実現を目指す環境省の広告の中で、ドアラと一緒に身近な環境問題を考えました。



世界中が注目！ COP10開催まであと1年
ドアラはふと考えた。
温暖化のこと。自然のこと。地域のこと。

その1 ドアラは消えました！
その2 ドアラは知ってしまいました！
その3 ドアラは帰った！ どうしても車を運転する人は、毎日エコドライブしてね！

公共交通機関をしよう！4月1日開始

10分をアクションでやってみよう、COP10!

マイスズメ、エコドライブ!

中日新聞 2009年10月18日付朝刊

■湧き上がる感動・共鳴空間 ナゴヤドーム



フェア・キャンペーンに
動員力と一体感を

ナゴヤドームは、中日ドラゴンズが本拠地球場とするドーム型野球場で、1997年に開場。中日新聞社をはじめ、地元財界の共同出資によって設立された株式会社ナゴヤドームが運営しています。名古屋市内中心部から地下鉄で20分程度の郊外に位置し、大型ショッピングセンターが隣接することから、連日、多くの人で賑わっています。野球開催時には最大40,500人を収容。入場ゲートでは来場者にチラシを配布することが可能で、試合開始前からドーム内ではファンを対象とした様々なイベントが行われます。また、ドーム内の大型映像装置「ライブビジョン」は、2008年にハイビジョン対

応のLEDに更新。試合中にはインングの間に、ファンから応募された「ドラゴンズ応援メール」が映し出されるほか、コマーシャル映像を流すことが可能です。事前予約で団体観戦も可能ですので、ビジネスシーンでのご活用もいただけます。

プロ野球の開催以外にも、コンサートや様々なイベント会場として使用されており、中日新聞社では、13,400㎡ある巻き取り式人工芝のアリーナと、ドームならではの音響、照明、ライブビジョン設備をフルに活用した展示会、スポーツイベントを多数、開催しています。

(株)ナゴヤドーム
■所在地 〒461-0047 名古屋市東区大幸南 1-1-1
■TEL 052-719-2121
■URL <http://www.nagoya-dome.co.jp/>

ナゴヤドーム
■竣工 1997年3月12日
■規模 両翼 100m、中堅 122m、
フィールド面積 13,400㎡
■収容人数 野球時 40,500人、客席数 38,500席

◎ナゴヤドームの利用に関する問い合わせは、
ナゴヤドーム イベント部 TEL 052-719-2120
◎ナゴヤドームの団体観戦に関する問い合わせは、
ナゴヤドーム 団体サービスグループ
TEL 052-719-2208 (11:00-17:00、土日祝除く)

●アクセス 地下鉄名城線またはゆとりとライン
「ナゴヤドーム前矢田駅」から徒歩約5分



■企画掲載事例

「国際生物多様性の日」に向けて5月15日の対オリックス戦、ナゴヤドームで「グリーンウェイブ」をPR。5回裏終了後、入場時に配布された緑色のPR版を3万人が掲げました。



中日新聞 2010年5月22日付朝刊

■ 総力結集でさらなる高みへ 名古屋グランパス



世代を超えた
サポーターパワーに注目!

名古屋グランパスエイトは、愛知県名古屋市をホームに置く、Jリーグ加盟のプロサッカーチームで1991年7月に発足。母体はトヨタ自動車サッカー部。チーム名は、ホームタウンの名古屋市に因み、名古屋の

シンボル「しゃちほこ」から「GRAMPUS」、名古屋の市章「八」から「EIGHT」をとって、名古屋グランパスエイトとされました。2008年より、呼称を「名古屋グランパス」に変更。ホームスタジアムは瑞穂陸上競技場で、豊田市にある豊田スタジアムも併用しています。マスコットは、「グランパスくん」。1995と99年に2度、天皇杯を制覇。Jリーグでは95年、2008年の3位が最高位。08年よりストイコビッチ監督が指揮。ホームタウンでは、サッカー教室や環境活動などを通じて、商店街や学校など、地域の一員として社会貢献活動にも努めています。



(株)名古屋グランパスエイト

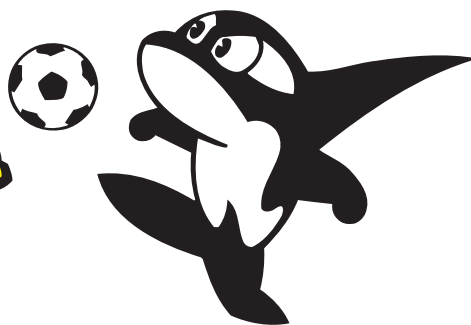
■所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄 5-1-32
久屋ワイエスビル 7階
■TEL 052-242-9180 ■FAX 052-242-9194
■URL <http://nagoya-grampus.jp/>

クラブハウス

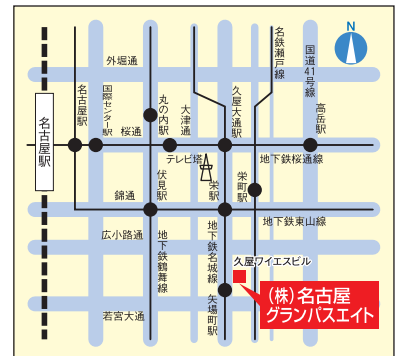
■所在地 〒470-0344
豊田市保見町井ノ向 57-230
トヨタスポーツセンター内
■TEL 0565-48-5300(10:00-18:00、火～土)

- ◎ホームスタジアム
名古屋瑞穂陸上競技場(20,000人収容可)
- ◎準ホームスタジアム
豊田スタジアム(40,000人収容可)
- ◎チケット、スタジアム、ホームタウン活動、ファンクラブに関する問い合わせは
名古屋グランパスエイト 事業部
TEL 052-242-9190(10:00-18:00、火～土)
- ◎名古屋グランパス
オフィシャルオンラインショップ
<http://www.rakuten.co.jp/grampus/>

NAGOYA
Grampus
EIGHT



●アクセス 地下鉄名城線「矢場町駅」1番出口から徒歩2分



[オフィシャルスポンサー] トヨタ自動車、豊田自動織機、中部電力、トヨタファイナンス、デサント

[クラブスポンサー] あいおい損害保険、愛三工業、アイシン・エイ・ダブリュ、愛知トヨタ自動車、アドバンスソフト、アルペン、eライフ、大林組、川崎汽船、サークルKサンクス、サントリー、清水建設、ジャパンビバレッジ、商船三井、スリーボンド、全日本空輸、セノン、ダイハツ工業、大洋薬品工業、タクティ、タケショウ、竹中工務店、DNP 東海、デュプロ販売、東京海上日動火災保険、東和不動産、トーエネック、トヨタホーム、名古屋トヨペット、NIPPO、日本郵船、日野自動車、保険相談センター、BOLS・1987、三井住友海上火災保険、明治乳業、メディカルプロモーション、UCC 上島珈琲、ルフトハンザドイツ航空

[出資会社] トヨタ自動車、中日新聞社、東海旅客鉄道、中部電力、三菱東京UFJ銀行、東邦ガス、名古屋銀行、名古屋鉄道、ノリタケカンパニーリミテド、大丸松坂屋百貨店、アイシン精機、愛知製鋼、デンソー、東海理化、トヨタ車体、ジェイテクト、豊田合成、豊田自動織機、豊田通商、トヨタ紡織



■ 名古屋の情報発信拠点 中日ビル



定番の待ち合わせスポット
販促・イベントに自在な活用

中日ビルは、名古屋市の中心街、栄地区のランドマークとして 1966 年に竣工。中日新聞グループの中部日本ビルディング株式会社が運営しています。地下鉄「栄」駅に直結する抜群の利便性に加え、ショッピングに観劇、カルチャースクールといった多目的な来場者で賑わうのが特徴です。

主な入居施設には、「中日劇場」、「栄・中日文化センター」、「中日パレス」、さらに3階から地下2階には専門店街「中日ビルタウン」が構成され、グルメからファッション、雑貨など約 100 店舗の専門店が揃っています。他にも、全国約 20 の都道府県名古屋事務所が観光情報を発信。中日ドラゴンズの球団事務所も入っています。1階にはプレイガイドの「中日サービスセンター」があり、正面玄関ホールは、名古屋の待ち合わせスポット

として定番。中日ドラゴンズの優勝を願うパブリックビューイングが行われるなど、名古屋の情報発信拠点となっています。



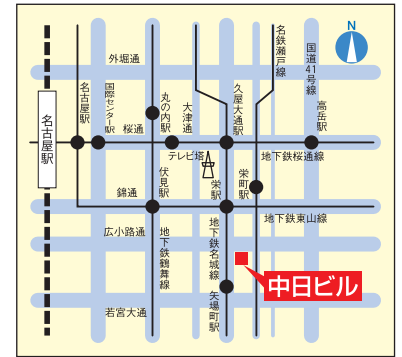
中部日本ビルディング株式会社

■所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-1-1
■TEL 052-263-7000
■FAX 052-263-7202
■URL <http://www.chunichi-bldg.co.jp/>

中日ビル

■竣工 1966年4月26日
■敷地面積 6,591.5㎡ ■延べ面積 84,491.7㎡
■階層 地下4階・地上12階
■入館者数 40,000人/日

●アクセス 地下鉄「栄駅」直結徒歩3分、
地下鉄「栄駅」1・2・13番出口から徒歩1分



■ 多目的スペース 中日パレス



パーティから展示会まで
大小講演会・セミナーにも

中日パレスは、中日新聞グループの総合結婚式場ですが、中日ビル 5 階という極めて利便性の高い環境から、各種パーティーやセレモニーの会場として、また展示会、会議の会場としてご利用いただけます。

中日パレス最大の面積を持つ「ヴィスタホール」は 132 坪、シアター形式で最大 400 人を収容します。パーティーで間仕切りして、就職・転職ガイダンスといった合同説明会などの使用に向いています。また、「クラウンホール」は 80 坪、シアター形式で 300 人、スクール形式で 175 人を収容し、天井高もあり、大型スクリーンを装備していま

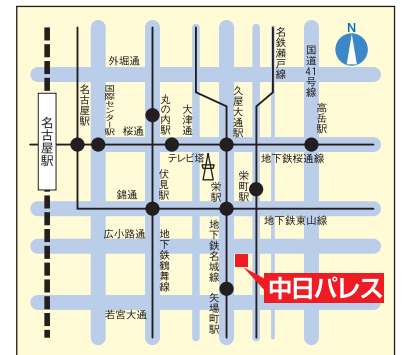
すので中規模のセミナー、講演会に適した会場です。その他、30坪前後の部屋がいくつかありますので、30~50人規模のディナー、ビュッフェとしても活用できます。



(株)中日パレス

■所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-1-1
中日ビル 5 階
■TEL 052-261-8851
■FAX 052-241-1510
■URL <http://www.chunichi-palace.co.jp/>
■営業時間 9:00-21:00
■休日 12月29日・1月3日

●アクセス 地下鉄「栄駅」直結徒歩3分、
地下鉄「栄駅」1・2・13番出口から徒歩1分



■ 2.4万人通うカルチャースクール 栄・中日文化センター 中日文化センターグループ



セグメントされた
上質ターゲットへのアプローチ

栄・中日文化センターは1966年、中日新聞社が運営する生涯学習の拠点として、中日ビル（名古屋市中区栄）のオープンと同時に開設。講座は、一般教養や外国語、各種資格取得に向けたキャリアアップをはじめ、書道、美術、料理、服飾、園芸、健康など、全38教室で多彩な1,300講座を開講。会員数は現在、2万4千人に上り、全国でも最大規模のカルチャースクールです。



施設は、音響・映像設備などを備えた開放感あふれる一般教室や、安全性に配慮したクッションフローリング仕様のスタジオルーム、人気の料理教室は講師の手元が大型モニターに映し出される充実した設備で、他にも陶芸教室や茶室を備えています。場所は、名古屋市の中心街・栄地区にある中日ビルの4階と交通も至便。

中日文化センターグループとしては、栄以外には、東海、北陸の各地に、21センターを展開しています。また、各種講演会、セミナーなどに講師派遣も行っています。

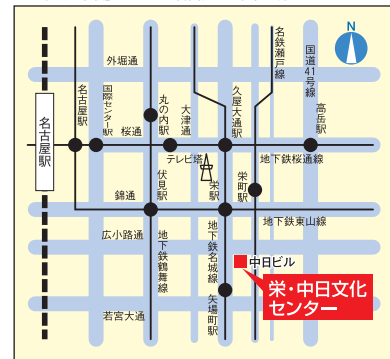
中日文化センターグループ

〈愛知県〉栄、鳴海、一宮、犬山、桃花台、高蔵寺、瀬戸、大府、共和、豊橋、豊田、岡崎、知立
〈岐阜県〉岐阜、大垣、高山 〈三重県〉四日市、津
〈静岡県〉浜松 〈滋賀県〉びわこ 〈石川県〉金沢、七尾

栄・中日文化センター

- 所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-1-1 中日ビル4階
- TEL 052-263-7111 ■FAX 052-263-7115
- URL <http://www.chunichi-culture.com/>
- 営業時間 平日 9:30-19:00 土曜 9:30-18:30 日曜 9:30-16:00
- 休日 年末年始・GW・お盆休み・その他休講日あり

- アクセス 地下鉄「栄駅」直結徒歩3分、地下鉄「栄駅」12・13番出口から徒歩1分



■ 名古屋3大劇場のひとつ 中日劇場



1,440席の人気シアター
多彩なエンタテインメントを手がかりに

中日劇場は、新聞社が運営する唯一の大規模多目的ホールとして1966年にオープン。場所は名古屋市中区栄の一等地、中日ビルの9階です。客席は、1階席974席（車イス席含む）、2階席466席の計1,440席で、すべて階段状になっており、どの席からも舞台がよく見ると好評です。車イススペースを1階席後方最後列に設けているほか、耳の不自由な方にも観劇を楽しんでもらうため、赤外線補聴システム「アシストホーン」を導入。客席のどこにいても周囲の雑音を拾わず、均一の明瞭な音声を楽しめます。

宝塚歌劇団をはじめ年間にわたって各種の演劇、ミュージカル、歌舞伎、コンサートなどを公演。「御園

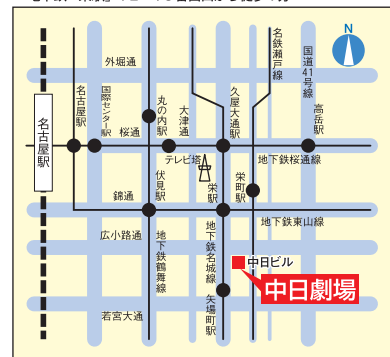
座」、「名鉄ホール」と並ぶ名古屋の3大劇場のひとつです。「中日劇場友の会」は、2011年3月公演をもって廃止され、チケット購入の利便性を高めるため、新たにパソコン、モバイルによる新会員制度がスタートします。



中日劇場

- 所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-1-1 中日ビル9階
- TEL 052-263-7171 ■FAX 052-263-7181
- URL <http://www.chunichi-theatre.com/>
- 営業時間 中日劇場チケットセンター 10:00-18:00
- 休日 年末年始

- アクセス 地下鉄「栄駅」直結徒歩3分、地下鉄「栄駅」12・13番出口から徒歩1分



■ 地域医療に貢献 中日病院



地元医師会とも連携
医療分野のメッセージ発信に一役

中日病院は、中日新聞社健康保険組合が運営する病院です。2006年11月、現在の所在地に新築移転。最新の医療設備を整えつつ、玄関や待合ロビーなど、随所に広めのスペースがとられた院内は、きれいで、ゆった

りとしています。2007年10月より、院内向け広報紙「緑の風」を発行。院内のさまざまな活動やサービスに関する情報提供を通じて、さわやかで健やか、そして風通しのいい病院を目指しています。

今年は、最新鋭のCT装置に切り替え、さまざまな領域で診断の精度向上に期待がもたれるほか、名古屋市医師会の病診連携システムに、名古屋市内32番目の登録病院として承認され、今後ますます地域医療への貢献が図られていきます。

- アクセス
- 【地下鉄】
 - 桜通線「丸の内駅」下車4番出口から徒歩6分
 - 鶴舞線「丸の内駅」下車1番出口から徒歩6分
 - 名城線「市役所駅」下車4番出口から徒歩10分
 - 名城線・桜通線「久屋大通駅」下車1番出口から徒歩8分
 - 【バス】
 - 栄13系統「外堀通」下車徒歩1分
 - 幹名駅1・名駅14系「外堀通」下車徒歩4分



- 中日病院**
- 所在地 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-12-3
 - TEL 052-961-2491 ■FAX 052-961-2932
 - URL <http://www.chunichi-hp.jp/>
 - 診療時間 9:00-12:00、13:00-17:00
 - 休診日 第2・4土曜日・日祝日・年末年始
 - 診療科目 内科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・歯科口腔外科
 - 開設年月日 1956年3月15日
 - 病床数 93床(一般42床、医療療養51床)



■ 福祉向上に全力 中日新聞社会事業団



CSR 事業活動を
多様な形でバックアップ

中日新聞社会事業団の歴史は、1937年4月設立の新愛知新聞社会事業団、翌年設立の名古屋新聞善行会までさかのぼります。1947年7月、社団法人中部日本新聞社会事業団となり、1960年に社会福祉法人化。名古屋市郊外の日進市に虚弱児施設・中日青葉学園(後に児童養護施設となる)を創設いたしました。1974年6月に中日新聞社会事業団と改称して以降、現在では施設経営のほか、本部と4支部において年間約350件のにのぼる主催、後援事業を行っています。

心やからだに障害を持つ人や難病に苦しむ人たちの自立への手助け、自立

が困難な生活保護家庭や施設入所児童への援助、地域福祉を支えるボランティア団体の顕彰、年末助け合い運動をはじめ被災地への見舞金の受け付けなど、その活動範囲はきわめて広く、寄託金の年間総額は約1億5千万円で、各地域の福祉向上に貢献しています。



- 中日新聞社会事業団本部事務局**
- 所在地 〒460-8511 名古屋市中区三の丸1-6-1 中日新聞社1階西側
 - TEL 052-221-0580 ■FAX 052-221-0839
 - URL <http://www.chunichi.co.jp/jigyodan/>
 - 受付時間 10:00-17:00(土日祝を除く)



■ 愛知・岐阜・三重・静岡に計8会場
中日ハウジングセンター



高い知名度と集客ノウハウ
住まいなんでも情報拠点

中日ハウジングセンターは、中日新聞広告局が運営する総合住宅展示場。現在、愛知、岐阜、三重、静岡県に計8会場を展開し、有名ハウスメーカーの最新モデルハウスの展示を通じて、住まいづくりに関する様々な情報を提供しています。週末には各会場

に常設される屋外ステージで楽しい催事を実施。催事情報は中日新聞に広告掲載され、週末にはファミリー層を中心に多くの来場者で賑わいます。

また、中日新聞社では、社団法人ナゴヤハウジングセンターが、愛知県下で運営する総合住宅展示場「ナゴヤハウジングセンター」に共催し、県下5会場の事業、広報活動を通じて運営に関わっています。

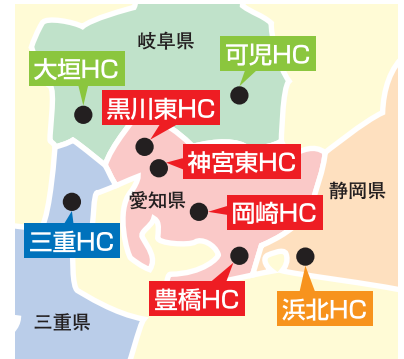
- 中日ハウジングセンター**
 〈愛知県〉黒川東 HC (名古屋市北区)、
 神宮東 HC (名古屋市熱田区)、
 豊橋 HC (豊川市)、岡崎 HC
 〈岐阜県〉大垣 HC、可児 HC
 〈三重県〉三重 HC (四日市市)
 〈静岡県〉浜北 HC (浜松市)
ナゴヤハウジングセンター
 〈愛知県〉日進梅森会場、春日井会場、豊田会場、
 一宮会場、半田会場



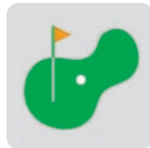
黒川東 中日ハウジングセンター

- 所在地 〒462-0852
名古屋市北区猿投町2番地
- TEL 052-915-1013 ■FAX 052-915-1051
- URL <http://www.chunichi-hc.ne.jp/>
- 営業時間 10:00-18:00 (4~10月)
10:00-17:00 (11~3月)
- 定休日 毎週水曜日 (祝日は営業)

●アクセス



■ 27H・10,372Y
中日カントリークラブ



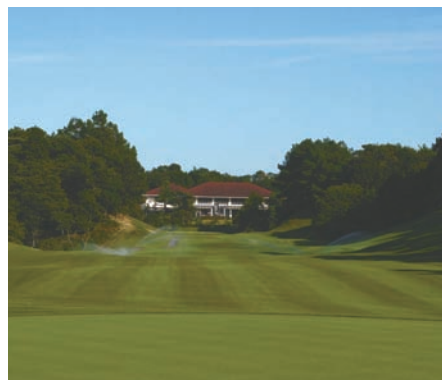
招いても招かれても
コースへの満足が話題に

中日カントリークラブは、中日新聞グループの中日本開発株式会社が事業運営するゴルフ場です。三重県鈴鹿市のなだらかな丘陵地に位置し、鈴鹿山脈を背景に緑豊かな大自然を満喫できる 27 ホールのメンバー制コース。自然林を 45% 残し、起伏を感じさ

せないフラットで広いフェアウェイと戦略性にも富み、池を配したショートホールが魅力です。東名阪自動車道「鈴鹿」IC より 4km。JR 関西本線「亀山」駅、近鉄鈴鹿線「平田町」駅下車、タクシーで 20 分。

中日カントリークラブ

- 所在地 〒519-0290
三重県鈴鹿市東庄内町字上宮代 1447
- TEL 059-371-1188 ■FAX 059-371-2354
- URL <http://www.chunichi-cc.com/>
- 規模 27 ホール、10,372Y、パー 108
- 西コース 9 ホール、3,552Y、パー 36
- 中コース 9 ホール、3,511Y、パー 36
- 東コース 9 ホール、3,309Y、パー 36



●アクセス



■ カメラファンの交流サロン 中日写真協会



中部各県下の写真好きで賑わう 展覧会&撮影会

中日写真協会は 1948 年に設立された会員組織の写真団体です。初心者からベテランまで中部各県下の写真好きな会員が本部、支部で活躍しています。現在の会員数は約 4,000 名。写真界有数の歴史を誇る「中日写真展」、「中日写真サロン」等多数のコンテストを開催するほか、毎年 10 名ほどの「中日フォトメイツ」を選定。中部エリア各地で

撮影会を催していますので、イベントに華を添えることも可能です。

本部正会員は、入会金 300 円、年会費 3,500 円(支部会員は支部ごとに運営費が異なります)で、会員バッジ、会員証を交付。月刊会報「中日写協」が送られて、中日写真協会主催の撮影会、フォトコンテスト、写真教室に参加できます。

中日写真協会本部事務局

- 所在地 〒460-8511 名古屋市中区三の丸1-6-1 中日新聞社北館 3 階
- TEL 052-221-0730 ■FAX 052-221-1958
- URL <http://chunichishasinkyukai.web.fc2.com/>
- 受付時間 10:00-18:00(土日祝を除く)

●アクセス

地下鉄鶴舞線または桜通線「丸の内駅」1 番出口から徒歩 7 分



■ 膨大な写真データベース 中日新聞フォトサービス



貴重な写真記録を 販促やイベントに

中日新聞フォトサービスでは、中日新聞、中日スポーツに掲載された写真を読者に有料で提供しています。キャビネサイズの 1 枚プリントから A4、A3、全紙サイズのプリントまたはフレーム(額入)などを取り揃えています。

ほかにも、中日新聞社の前身、「新愛知」、「名古屋新聞」の時代から最新の写真まで、愛知、岐阜、三重の東海三県を中心に資料写真を多数保有しています。昭和の風景や街の変遷、伊勢湾台風、愛知万博など、社史や記録集、ホームページの制作などに、あるいはイベント会場や店内ロビーなどの写真パネル展にご活用いただけます。

但し、ご提供できる写真は、当社の取材写真に限られるほか、中日ドラゴ

ズ以外の球団及びプロスポーツ選手、芸能人、事件事故の現場やプライバシー侵害にあたる写真、国内外の通信社が配信した写真をご提供できません。また、提供する写真を出版物や HP へ転載、複写する場合は、別途著作権使用料をいただくことになります。



(株) 中日新聞フォトサービス

- 所在地 〒460-8511 名古屋市中区三の丸1-6-1 中日新聞社 7 階
- TEL 052-203-4500 ■FAX 052-211-6525
- URL <http://www.chunichi-photo.co.jp/>
- 受付時間 10:00-17:00(土日祝を除く)



■ サブメディア多彩 中日新聞出版部



各メディアに固定読者
「思い出新聞」も大人気

中日新聞社出版部では、『月刊ドラゴンズ』、『月刊グラン』を定期発行するほか、『東海エリアデータブック』や名古屋城築城400年グラフィックス『名古屋城いまむかし』といった地域ならではの保存性の高い本、本紙連載小説、連載記事を再編集した単行本など、幅広いジャンルの書籍を発行してい

ます。

また、誕生日や結婚記念日、母の日、父の日、敬老の日など、お祝いごとの記念品として『思い出新聞』を提供しています。A3判で、政治面・社会面セット(カバー付)が800円、どちらか一枚の場合は600円(いずれも送料、消費税込)。対象となる紙面は、1906(明治39)年11月6日以降です。中日新聞は1942(昭和17)年9月1日に「新愛知」と「名古屋新聞」が合併して誕生したため、それ以前は「名古屋新聞」をお届けしています。年末年始を除き、配達日指定も可能。また、事前に希望日を一括して承ったり、イベント会場に機材を運んでコーナーを設けることも可能です。



中日新聞社出版部

■所在地 〒460-8511 名古屋市中区三の丸1-6-1
中日新聞社北館2階
■TEL 052-221-1714 ■FAX 052-221-0587
■Email shuppan@chunichi.co.jp
■受付時間 10:00-18:00 (土日祝を除く)

●アクセス

地下鉄鶴舞線または桜通線「丸の内駅」1番出口から徒歩7分



■ 中部の知性 中日懇話会



次の中部をリードする人々
協力・連携のチャンスあり

中日懇話会は中日新聞社が主宰して1976年に創立。毎月1回、内外の著名な講師を招いて名古屋市内のホテルで講演会、昼食会を開き、既に400回を超す長い歴史を誇り、地域で高い評価を受けています。また、毎月会報を発行し、講演内容などを紹介。内容は中日新聞朝刊にも掲載されます。

政治、経済を中心に文化、社会全般にわたる国内情勢や海外の動向を会員に迅速、的確に提供し、懇談しながら情報交換、親睦を深める場です。

[会員] 東海地区の法人を原則とし、法人の入会口数は自由。講演会の代理出席も可能。

[会費] 1人月額13,250円(税込)で、6ヵ月分79,500円を前納。入会金は不要。

[内容] 毎月1回、名古屋市内のホテルで午前11時50分から開催、昼食会のあと講演会を開きます。このほか特別講演会も随時開きます。

中日懇話会事務局

■所在地 〒460-8511 名古屋市中区三の丸1-6-1
中日新聞社北館2階
■TEL 052-221-0588 ■FAX 052-221-0587
■Email konwakai@chunichi.co.jp
■受付時間 10:00-18:00 (土日祝を除く)



■ 地域の情報ステーション 中日新聞販売店



戸別配達の特長を
最大限活かす！

中日新聞社が発行する中日新聞、中日スポーツを戸別配達している新聞販売店は、東海4県で1,200店余り。愛知県内で8割に迫る、78.5%の購読者率 (J-READ2009年版) を持つ中日新聞は、生活に欠かせない情報源となっています。中日新聞には連日多くの折り込みチラシが入り、週末は本紙以上の分厚さになることも珍しくありません。また地域によっては、近隣の話、情報を満載にしたホームニュースやフリーペーパーも多数発行され、魅力ある生活情報となっています。そのような情報を毎日、迅速、確実、丁寧に読者のもとへ戸別配達しているのが新聞販売店。販売店はお店ごとに販売区域が決められており、そのきめ細かい配布地域の事情に精通しているのも最大の特徴です。商店街やお祭り、スポーツ大会など、年間で多くの地域事業もバックアップしています。

また、超高齢社会の今、お年寄りの一人住まい世帯が社会問題化し、離れて暮らすご子

息にも安心してもらうため、異常事態支援サービス『み・まもーる』を提供しています。配達員が新聞配達時に、新聞が毎日、ポストから取り出されているかを確認し、数日間たまっていない場合を目安に、異常事態と察知して安否の確認をしたり、事前登録いただいた緊急連絡先に連絡を行ったりするサービスです。戸別配達という日本固有の流通システムを維持することで、新聞販売店と読者の信頼を構築し、満足いただけるサービスの提供を通じて、地域に溶け込む情報ステーションとなっているのです。



中日新聞販売店は、東海4県で1,200店余り



「販売店ダイレクト配布サービス付き新聞広告」

戸別配達の手段には、ポスティングや新聞集金時の手渡しといった方法が挙げられます。直接渡しの場合、例えば試供品などのサンプルを配ることも可能です。また、新聞販売店が関わる地域の祭りやイベントで、ターゲットにまとめてサンプリング提供することも可能。広告局では、新聞広告にプラスして、よりセグメントされたターゲット配布を可能とする「販売店ダイレクト配布サービス付き新聞広告」を提供しています。これは地域に精通した新聞販売店がもつ情報と機能を活用した中日新聞独自のエリアマーケティングプランです。例えば、開業医や高級住宅などの富裕層、あるいは一戸建てや集合住宅などの住居形態別、事務所や商店などの事業主だけを対象にするといった、特定のターゲットへのダイレクト配布を付加価値とした新聞広告出稿プランです。これらのサービスは、手数料が必要となりますが、い

ずれのご提案も依頼内容に応じたオーダーメイドプランとなり、大きな効果が期待できます。尚、個人情報保護の観点から、応じかねる内容もございますので、ご依頼案件につきましては、事前に弊社広告局担当者までお問い合わせください。



■ サンプリング事例

サッポロビールの新ジャンル「サッポロ クリーミーホワイト」が全国発売となったことに合わせて10月、11月と中日新聞朝刊に広告を掲載。名古屋市内の販売店31店舗で9月25日から11日間、合計3,000本の商品とリーフレットを新聞購読料の集金時に、販売店員から成人読者に手渡しでサンプリングしました。



中日新聞 2010年10月16日付朝刊